

面付引戸自動施錠 両面ボタン 取付説明書



このたびはNAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
 引渡し時に、本紙：取付説明書と別紙：取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包一覧 ※組立前に部品が揃っているかご確認ください。

A 本体 表側用 1 ※注1、2	B 本体 裏側用 1 ※注1、3	C HAM 錠 1	D 角芯棒連結金具 1	E カバー 2	F 本体 スペーサー 2	G 樹脂ベース 厚さ2.0mm 1 厚さ3.5mm 1 厚さ4.5mm 2	H 本体固定ねじ 丸皿小ねじ 表用（短い）1 裏用（長い）1	I 面付受座 1	J 面付受座裏板 両面テープ 各1	K 受座スペーサー 厚さ1mm 2 厚さ3mm 1
L 彫込 アタッチメント 1	M 皿小ねじM4×25 4	N 皿コンビねじM4×25 皿コンビねじM4×40 各4	O アジャストプレート 1	P アジャストスペーサー 厚さ1mm 2 厚さ3mm 1	Q M4 六角ナット M4 平ワッシャー 各4	R トラスタップねじ A1・M4×20 5	S 取扱説明書 1	T ⑤の袋と同梱 解錠方向シール 1	U 取付説明書 切欠図 各1	V キー 2

※注1：本体には、[1] 鍵なし、[2] 鍵付き、[3]MIMA 対応品、[4]GOAL 対応品の4種類があります。 ※注2：④本体 表側用には、⑥カバーが、あらかじめ組み込まれています。
 ※注3：⑥本体 裏側用には、①HAM 錠、②カバー、③樹脂ベース（4.5mm x 1）が、あらかじめ組み込まれています。

1 取付準備

1 開き勝手の確認
 下図で引き戸の開き勝手の確認をします。

右勝手	左勝手

※カバースペーサーを
取り外さない場合は
3へ

※工場出荷時は右勝手になります。
 左勝手への変更は、右記の操作
にて行ってください。
 ※右勝手の場合は 4へ

2 (カバー不要の場合) ⑥本体 裏側用から⑤カバーを取り外し、⑦本体スペーサーを取り付けます。(A 本体 表側用は②と③を同じ要領で行います)

1 本体裏側用からHAM 錠と
③樹脂ベース4.5mmを外します。

2 図のようにカバー
を持ち上げ、引き
抜きます。

3 本体スペーサーを
本体裏側のくぼみに
合わせてはめこみます。

4 取り外したHAM 錠と
樹脂ベース4.5mmを
取り付けて戻します。

※カバースペーサーを
取り外さない場合は
3へ

※HAM 錠の勝手方向に
注意してください。

3 (左勝手の場合) HAM 錠を開き勝手にあわせる

1 HAM錠を本体から外し
反転させます。

2 本体裏面の角芯棒
を回転させます。

3 HAM錠と樹脂ベース4.5mm
を本体に取り付けます。

※工場出荷時は右勝手になります。
 左勝手への変更は、右記の操作
にて行ってください。
 ※右勝手の場合は 4へ

角芯棒
(横溝をL方向
にする。)

4 連結金具の取り付け

1 「本体裏側用の角芯棒」に
「D 角芯棒連結金具」を
押し込みセットします。

2 ※扉厚40mm以上の場合のみパーツが付属しています。
 「本体表側用の角芯棒」
にパーツをセットします。

注意
角芯棒連結金具の溝は角芯棒
の溝にあわせて必ず横向きに
セットしてください。

注意
ばね固定板は奥まで
押し込み、回転させて角
芯棒の段差にひっかけます。

注意
取り付けを間違えると
施錠が正常に作動しません。

3 引き戸と枠の納まりを、
裏面 4 面付受座の取付 で
ご確認ください。

注意 (鍵付き本体の場合)
 本体とハンドルの隙間は100mm以上
 開けて下さい。キーの操作ができなくなります。

100mm
以上あげる

2 引き戸への取付穴加工

④⑤本体・①面付受座の取り付け穴加工をします（別紙 切欠図 参照）。

3 本体の取付

1 引き戸の表側に、本体 表側用 をセットします。

2 裏側から「HAM 錠・本体
裏側セット」をセットします。

3 本体 表側用と本体 裏側用から各1本
④本体固定ねじで固定します。

注意
鍵付タイプでは、キーを
抜いた状態でセットします。

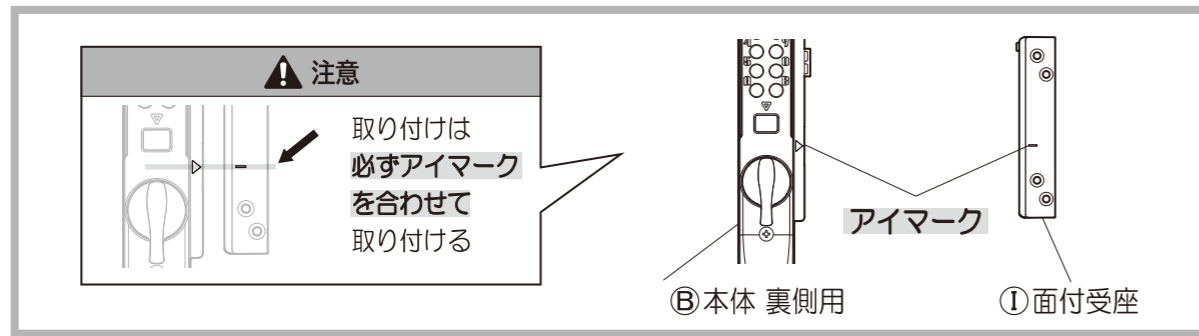
注意 1
角芯棒連結金具に合わせて角芯棒を
回転させ、セットしてください。

注意 2
③樹脂ベースの厚さ4.5mmは必ず使用
します。
厚さ2.0mmと、3.5mmは本体 裏側用の高さ
調整にお使いください。

ねじ穴

④ 面付受座の取付

①面付受座を取り付けます。納まりにあわせて ①～④を使い分けます。



【取付例：Aパターン】

枠の表面からの寸法 (K受座スペーサーの使用状況により寸法は変わります)

46 mm 戸しゃくりの深さに注意する

必要に応じてお使いください

ボスを上にして取り付ける

NL=40

アイマーク

①

【取付例：Bパターン】

面付受座先端からの寸法

24mm

④ 面付受座裏面に両面テープを貼付してから

① 面付受座の裏面に貼付します

ボスを上にして取り付ける

NL=40

アイマーク

①

※ 両面テープを貼付するときは、貼付面のホコリや汚れなどをしっかりふき取ってください。

【取付例：Cパターン】

46 mm 面付受座結合面からの寸法

○アジャストプレートの調整範囲

上下方向 5.5 mm

左右方向 15 mm

ボスを上にして取り付ける

アイマーク

必要に応じてお使いください

①

【取付例：Dパターン】

枠の表面からの寸法

30mm 戸しゃくりの深さに注意する

△を上にして取り付ける

NL=25

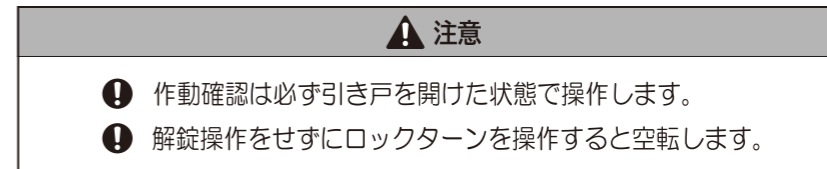
ボスを上にして取り付ける

アイマーク

①

⑤ 作動確認

HAM 錠の作動確認をします。



1 HAM 錠の作動確認

- ① トリガーを押し込み鎌デッドが出ることを確認します。
- ② 記憶番号とエンターボタンを押し、ロックターンを回転させます。
- ③ ロックターンを回転させると、鎌デッドが引き込まれ、トリガーが飛び出すことを確認します。

2 本体の記憶番号で **解錠確認** をします (別紙 取扱説明書「解錠の方法」参照)

① 解錠方向シールは解錠方向にあわせて必ずお貼りください。

取り付けがうまくいかないときは

症状	考えられる原因	調整方法
引き戸と枠に隙間ができる すき間	閉戸する前に HAM 錠が面付受座に当たっている 	キーレックスの取付位置を戸尻側に調整する
引き戸を開けても施錠しない 	閉戸しても HAM 錠が面付受座に当たらずトリガーが押し込まれないため鎌デッドが出ない 	方法 ① キーレックスの取付位置を戸先側に調整する 方法 ② K 受座スペーサーでかさ上げる



株式会社 長沢製作所
www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092